

試料・情報利用研究計画書(概要)

研究番号	2025-2002	利用形態	内部研究		
研究題目	ライフコース中の異なるライフステージにおける各種表現型 GWASの国際共同研究		研究期間	2025年9月 ~ 2028年8月	
主たる研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構	責任者 氏名・職	小原 拓	准教授	
分担研究機関	-	責任者 氏名・職	-	-	
研究目的と意義	<p>晩年の急性疾患や慢性疾患、疾患の再発などの不健康な状態は、遺伝的な要因に加えて、人生の様々な時期における健康に関する指標(体格や脂質、血圧等)の積み重ねによって形づくられます。それぞれの時期における健康に関する指標が、将来の健康にどのように関係するのかを理解することは、より効果的な予防法や治療法を開発するために必要です。特に遺伝子の違い(遺伝子多型)については、人生のどの時期に、どのような健康に関する指標と関係し、その後の健康にどのように影響するかについては、未だ明らかにされていません。</p> <p>そこで、イギリスのブリストル大学では、国際コンソーシアム「Lifecourse GWAS consortium」(https://lifecourse-gwas.github.io/)を立ち上げてその解明に取り組んでいます。東北大学もLifecourse GWAS consortiumに参画いたします。東北大学では年齢ごとに健康に関する指標に対するゲノムワイド関連解析(GWAS)を実施して、その結果をLifecourse GWAS consortium に提供します。</p>				
研究計画概要	body mass index、身長、腹囲について、測定時の年齢毎に、GWASを実施します。遺伝情報はインピュテーション済み のデータを用います。解析結果をブリストル大学に提供し、ブリストル大学では他のコホートでの解析結果とともに統合解析します。				
利用試料・情報	<p>対象: 東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査に参加された20歳未満の方 約32,000名 試料: なし 情報: 基本情報(性、年齢、生年、続柄)、調査票、カルテ情報、母子健康手帳、乳幼児健診、学校健診、5,10,16歳時調査の生理学的検査(第二段階、第三段階、追加リクルート)、アレイ解析によって情報化されているゲノム配列情報(インピュテーション済み)</p>				
期待される成果	遺伝子多型が年齢ごとに健康指標にどのように関わるかを調べることで、病気の予防や治療の最も効果的な時期が明確にできれば個別化予防の推進につながります。				
倫理審査等の経過	2025年9月 東北大学東北メディカル・メガバンク機構倫理審査委員会承認				
倫理面、セキュリ ティー面の配慮	国際コンソーシアム代表機関(ブリストル大学)には電子ファイルで解析結果のみを提供し、個人単位の情報は含みません。				
その他特記事項	この研究は運営費交付金により実施します。				
(事務局使用欄)	*公開日 2025年9月25日				